

令和3年度 年間授業計画

東京都立瑞穂農芸高等学校

教科	科目	講座名	単位数	対象学年	履修形態
家庭	ファッション造形基礎	ファッション造形基礎	2	1年	必修

使用教科書 および 使用教材

教科書	教材
ファッション造形基礎(実教出版)	教科書、資料集、裁縫用具、実験用具、DVD

年間計画表

学期	月	指導内容	予定時数	具体的な指導目標
一学期	4	1. オリエンテーション 2. 基礎縫い① 3. 布地について	6	1. 実習室の利用方法や、道具用具の名称や用途を把握する。 2. ミシンの使い方(各部の名称、糸のかけ方、試し縫い)を理解させる。 3. 課題に適した布地について知る。
	5	1. 基礎縫い② 2. 基礎縫い③	8	1. 印つけ、ロックミシンの方法が理解でき実践できる。直線ミシンを使い図案通りに縫うことができる。 2. 手縫いの基礎を身につける。
	6	1. エコバッグ製作①	10	1. 裁断、印つけ、ロックミシンをかける。袋布に持ち手を正しく縫いつける。袋布を中表にあわせ、印通りにミシンをかける。装飾を施す。
	7	1. エコバッグ製作② 2. 製作発表	2	1. 底マチをつける。 2. 実習の感想、学んだこと、装飾について発表する。
二学期	9	1. 子ども服製作①	10	1. 乳幼児の体型的・生理的特徴をふまえ、被服の構造や素材について理解する。接着芯の役割と、アイロンによる正しい貼付方法を知り、前・後ろ見返しに接着芯を張る。
	10	1. 子ども服製作② 2. 衣服材料	10	1. ギャザーの用途、ギャザーの寄せ方を理解する。ギャザーを寄せる。衣服の構成について理解する。縫い代の始末方法を理解する。 2. 糸、布の種類と特徴にして理解し、正しい
	11	1. 子ども服製作③ 2. 衣服材料	8	1. 曲線の縫い方と始末の方法を理解する。手縫い「たてまつり」ができる。「落としミシン」の用途と縫い方を知り、出来る。 2. 糸、布の種類と特徴にして理解し、正しい扱いができるようになる。
	12	1. 子ども服製作④	2	1. すその始末が適切にできる。
三学期	1	1. 子ども服製作⑤	6	1. 穴糸で鎖編みをし、糸ループを作ることが出来る。ボタンをつける。用途に適した装飾ができる。
	2	1. 子ども服製作発表 2. 立体構成と平面構成	6	1. 実習の感想、学んだこと、装飾について発表する。 2. 二つの構成服の違いと特徴を理解することができる。立体化の方法を理解する。
	3	1. 立体構成と平面構成	2	1. 1/10浴衣の製作を通して平面構成衣服特徴を理解する。

評価の観点・方法

70

- 日々の授業への取り組み、提出物、定期考査などを総合し評価する。
- ①定期考査で習熟度を図る。提出作品で技能の習得状況を見る(技能・知識・理解)
 - ②授業準備、プリントや作品の提出により取り組む姿勢を見る(関心・意欲・態度)
 - ③被服作品の装飾での創意工夫、レポート・発表での言語表現を見る。(思考・判断・表現)

令和3年度 年間授業計画

東京都立瑞穂農芸高等学校

教科	科目	講座名	単位数	対象学年	履修形態
家庭	フードデザイン	フードデザイン	2	1	必修

使用教科書 および 使用教材

教科書	教材
フードデザイン 教育図書	教科書・副教材・調理器具

年間計画表

学期	月	指導内容	予定時数	具体的な指導目標
一学期	4	現代の日本の食生活の問題点や和食の特徴 実習室の使い方 計量	6	オリパラ教育の一環として和食のすばらしさについて指導し、世界に和食の素晴らしい伝統を発信しようとする態度を養う。
	5	炭水化物 実験① だしの取り方、ご飯の炊き方(おにぎり・みそ汁) 中間考査	8	炭水化物を多く含む米や小麦などの種類と成分について理解を深める。 実験① 和風煮出し汁4種類の取り方を理解し実践する。 ご飯の炊き方(水分量・火力)を理解し実践する。
	6	脂質 実習①牛丼・おひたし・味噌汁	10	脂質を多く含む食品と成分について理解を深める。 実習① どんぶり物の作り方を理解し、実践する。 緑色野菜のゆで方を理解し、実践する。 野菜の切り方、みそ汁の作り方を理解し、実践する。
	7	期末考査	2	
二学期	9	たんぱく質 実験②砂糖・グルテン 実習②マカロニグラタン・カスタードプディング	10	たんぱく質についてその機能を理解する。 実験② 砂糖と小麦粉の加熱による変化と調理の関係を知る。 実習② マカロニのゆで方、ルウ、ホワイトソースの作り方を理解し、実践する。 カラメルソースの作り方を理解し、実践する。
	10	たんぱく質 実習③ぶりの照り焼き・かぼちゃのそぼろあんかけ・菊花かぶ 中間考査	10	魚や肉、卵などの種類と大豆の加工食品について理解する。 実習③ 菊花かぶの作り方を学ぶ。魚の焼き方、盛り付け方を学ぶ。 野菜の煮物の作り方を学ぶ。
	11	たんぱく質・無機質 実習④正月料理(栗きんとん・紅白なます・筑前煮)	8	無機質の働きと多く含む食品について理解する。 実習④ 日本の伝統的な正月料理について、その種類や意味を理解する。栗きんとん、筑前煮、紅白なますの作り方を理解し、実践する。
	12	期末考査	2	
三学期	1	無機質・ビタミン 実習⑤スパゲティミートソース・オレンジゼリー	6	ビタミンの種類とそれぞれの機能と欠乏症を理解する。 実習⑤ スパゲティのゆで方を理解し、実践する。 ミートソースの作り方を理解し、実践する。 ゼリーの原料による違いを理解し、実践する。
	2	特殊食品 栄養計算 実習⑥麻婆豆腐・粟米湯・凉拌三絲	6	特殊食品 保健食品や簡便食品について理解し、その利用について考える。 栄養計算 食品成分表の見方を知る。どれくらいの栄養が摂れたかを計算できるようになる。 実習⑥ 中国料理の特徴を理解する。
	3	学年末考査	2	

評価の観点・方法

70

日々の授業や実習、課題への取り組み、定期考査などを総合し評価する。

- ①定期考査で習熟度を図る(技能、知識・理解)
- ②ノートや課題を提出により取り組む姿勢を見る(関心・意欲・態度)
- ③実習への取り組む姿勢を見る。(技能、知識・理解)

令和3年度 年間授業計画

東京都立瑞穂農芸高等学校

教科	科目	講座名	単位数	対象学年	履修形態
家庭	家庭基礎	家庭基礎	2	第1学年	必修

使用教科書 および 使用教材

教科書	教材
家庭基礎 東京書籍	資料集 アクティブ家庭科 実教出版

年間計画表

学期	月	指導内容	予定時数	具体的な指導目標
一学期	4	自分らしい人生をつくる 子どもと共に育つ 子どもの育つ力を知る	6	各ライフステージの特徴と課題、青年期の課題について考えさせる。高校卒業後のライフイベントについて考えさせる。家庭の機能の変化や現代の家族の特徴、社会制度としての家族について理解させ、自分にとって家族について考えさせる。多様な家族があることを理解させ、自分にとっての結婚についても考えさせる。職業労働・家事労働の特徴と意義を理解させる。男女共に仕事・家事を担うためにはどうすればいいか考えさせる。 家族・家庭に関する基本的な法律を理解させる。民法改正の動きを知り、これからの家族・家庭、男女のあり方について考えさせる。 新生児や乳児の特徴、身体の発達について理解させる。保育環境や子育て支援、法律について学び、現在やこれからの保育について課題を把握し解決法について考えさせる。将来家族を持った時に子育て
	5	自分らしい人生をつくる 子どもと共に育つ 子どもの育つ力を知る	8	
	6	家族と法律 子どもと共に育つ 親として共に育つ	10	
	7	定期考査 まとめ	2	
二学期	9	高齢社会を生きる 子どもと共に育つ これからの保育環境	10	現代の高齢者の特徴と高齢者を取り巻く社会情勢について理解させ、課題と解決法について考えさせる。 加齢に伴う心身の変化と特徴について理解させるとともに、高齢者の生活の現状と課題について認識させる。 住居についての基礎知識を学び、自分にとっての住居について考えさせる。日本の各地の住宅と世界の住宅の特徴の比較、また時代による比較を通して、住居の機能を理解させる。一人暮らしの家探しをPC室で行い、自らの住居に対する価値観を確認させる。一人暮らしの収入・支出のシミュレーションを行うことで、暮らしにかかるお金について考えさせる。一人暮らしの家探しの発表準備を行う。発表会を通じて、住居に対する様々な考え方や価値観について学び、考えさせる。
	10	高齢社会を生きる 住生活をつくる 住生活について考える	10	
	11	高齢社会を生きる 住生活をつくる 住生活の計画と選択	8	
	12	定期考査 まとめ	2	
三学期	1	経済生活を営む 衣生活をつくる 衣服を管理する これからの衣生活	6	消費について理解するとともに環境についてどのようなことに取り組めるか考えさせる。 衣服の役割や、衣服の入手、手入れ、資源としての衣服に関する基礎的な知識を理解させる。 食生活について栄養バランスの良い食事や食事計画を立てられるようにする。
	2	経済生活を営む 食生活をつくる 生涯の健康を見通した食事計画 これからの食生活	6	
	3	定期考査 まとめ	2	

評価の観点・方法

70

日々の授業や課題への取り組み、定期考査などを総合し評価する。

- ①定期考査で習熟度を図る(技能、知識・理解)
- ②ノートや課題を提出により取り組む姿勢を見る(関心・意欲・態度)
- ③発問に対する回答から思考力・論理力を観察する(見方・考え方、技能、知識・理解)

令和3年度 年間授業計画

東京都立瑞穂農芸高等学校

教科	科目	講座名	単位数	対象学年	履修形態
家庭	家庭基礎	家庭基礎	2	第1学年	必履修

使用教科書 および 使用教材

教科書	教材
家庭基礎(東京書籍)	生活ハンドブック(第一学習社)

年間計画表

学期	月	指導内容	予定時数	具体的な指導目標
一 学 期	4	食生活をつくる 食生活の課題について考える 食事と栄養・食品	6	自分の食生活に置き換えて考えられるようにする
		衣生活をつくる 衣服の役割を考える		衣服の役割に気付かせる
	5	食生活をつくる 食事と栄養・食品 食生活の安全 調理実習	8	人体と栄養素のかかわりに気付かせる 安全・衛生に配慮して調理する 衣服材料や被服整理の基本的な知識を身に付け、適した選択・管理方法を理解する
		衣生活をつくる 衣服の管理・材料		
6	食生活をつくる 調理の基礎 調理実習	10	基本的な調理技術を学び、安全・衛生に配慮して調理する 被服製作の手順を理解し、作品を完成させる	
	衣生活をつくる 被服製作			
7		自分らしい人生をつくる 家族・家庭を見つめる	2	家族に関わる法律や創る家族について考えさせる
二 学 期	9	衣生活をつくる 衣服の役割を考える	10	衣服の役割に気付かせる。オリパラ教育の一環として世界の様々な民族衣装について学習する。自分の食生活に置き換えて考えられるようにする
		食生活をつくる 食生活の課題について考える 食事と栄養・食品		
	10	衣生活をつくる 衣服の管理 食事と栄養・食品 食生活の安全 調理実習	10	衣服材料や被服整理の基本的な知識を身に付け、適した選択・管理方法を理解する 人体と栄養素のかかわりに気付かせる 安全・衛生に配慮して調理する
		衣生活をつくる 被服製作		
11	食生活をつくる 調理の基礎 調理実習	8	被服製作の手順を理解し、作品を完成させる 基本的な調理技術を学び、安全・衛生に配慮して調理する	
	高齡社会を生きる 高齡者の理解と社会との関わり			
12			2	歳を重ねるということを考えさせる
三 学 期	1	子どもと共に育つ 子どもの育つ力を知る 親として共に育つ	6	親になる視点を持たせ、子どもや社会について考えさせる
	2	住生活をつくる 住生活について考える 住生活の計画と設計	6	よりよい住生活を考えさせる
		経済生活を営む 職業生活を設計する		自分の消費行動を見直すとともに、今後の生活を考えさせる
3	経済生活を営む 現代の消費社会	2	自分の消費行動を見直すとともに、今後の生活を考えさせる	

評価の観点・方法

70

学習目標を満たしているか。
定期考査、提出物、授業態度、実習への取り組み、忘れ物等

令和3年度 年間授業計画

東京都立瑞穂農芸高等学校

教科	科目	講座名	単位数	対象学年	履修形態
家庭	生活産業基礎	生活産業基礎	2	1年	必修

使用教科書 および 使用教材

教科書	教材
生活産業基礎(実教出版)	楽しく学べるマナーの基本(教育図書) プリント

年間計画表

学期	月	指導内容	予定時数	具体的な指導目標
一学期	4	・生活産業を学ぶ目的 ・衣食住、保育、家庭看護や介護などのヒューマンサービスにかかわる生活産業について ・生活産業で働く人、消費者に求められることは何か	6	衣食住、保育や教育、介護などのヒューマンサービスに関わる生活産業について学ぶ意義を理解させ、主体的に学習に取り組む意欲を持たせる。また、生活産業の中で、働く人に求められる資質について考えさせ、自身の日々の取り組みと関連して考えさせる。
	5	・キャリアとは何か、自分自身のキャリアについて、生活と産業との関わり ・社会の変化とライフスタイルの変化 ・さまざまな職業、資格について	8	キャリアとは何か、自分自身のキャリアについて、考えさせ、生活と産業との関わりを理解させる。
	6	・食生活関連分野の産業・職業の意義・役割 ～食生活の変化、食に対する意識や価値観の多様化 ・住生活関連分野の産業・職業の意義・役割 ・生活産業の職業人に求められる資質や能力にはどのようなものがあるか、理解し、自己実現のために努力していく姿勢を身につけさせる。	10	社会の変化とライフスタイルの変化を学び、社会の変化にともなって私たちの生活も変わっていくことに気づかせる。
	7	期末考査	2	さまざまな職業、資格について調べ、さまざまな人の生き方を理解させる。
二学期	9	・卒業後の進路選択についての動機付けになるように、分散登校期間中の課題として取り組んだ職業について発表をし、職業について考えることにより、将来の進路に対する意識を高める。 ・衣生活関連分野の産業・職業の意義・役割 ～感性や意識の多様化、ファッションが果たす役割の変化と現	10	各自、職業について調べ、職業について考えることにより、将来の進路に対する意識を高めさせる。卒業後の進路選択についての動機付けになるように、夏休みに課題として取り組んだ専門学校・短大・大学での体験学習の報告をまとめさせる。
	10	・課題として取り組んだ専門学校・短大・大学での体験学習の報告を分かりやすくまとめ発表させることで様々な進路についての理解を深めさせる。 ・自分の発表だけでなく、他人の発表を聴く姿勢を身につけさせることにより、表現力、コミュニケーション力を高める。	10	体験学習の報告をまとめさせ、様々な進路についての理解を深めさせる。また、体験学習の報告を分かりやすくまとめ、発表させることで、様々な進路についての理解を深めさせる。
	11	・ヒューマンサービス関連分野の産業・職業の意義・役割 ～少子高齢化等の社会の変化、ヒューマンサービス関連分野に対する需要の高まりなど ・職業人としてのマナーを知る。	8	自分の発表だけでなく、他人の発表を聴く姿勢を身につけさせることにより、表現力、コミュニケーション力を高める。また、聞きながらメモを取り素早くまとめる力を育成する。
	12	期末考査	2	
三学期	1	・2学期の調べ学習、報告の内容も生かし職業について理解を深めるとともに、働くことの意義を見出し、人生観が持てるようにする。 ・フリーター、ニート、派遣社員 等、非正規雇用についても考えさせる。	6	2学期の調べ学習、報告の内容も生かし、職業について理解を深めるとともに、働くことの意義を見出し、人生観が持てるようにする。
	2	・職業生活に必要な資質や能力、知識、技術は専門科目の授業を通して身につけていけることを、資格取得や、将来のスペシャリストを目指した学習プランを立てさせることを通して、理解させる。	6	フリーター、ニート、派遣社員 等、非正規雇用などの働き方の変遷についても考えさせる。
	3	学年末考査	2	生活産業の職業人に求められる資質や能力にはどのようなものがあるか、理解し、自己実現のために努力していく姿勢を身につけさせる。 五輪と産業界がいかに重要な関係

評価の観点・方法

70

日々の授業や実習への取り組み、定期考査などを総合し評価する。

- ①定期考査で学習の定着、習熟度を図る(技能、知識・理解)
- ②クラスメイトの発表や職業についてのVTRをまとめるレポートの提出、から学習に取り組む姿勢や聴く姿勢を見る(関心・意欲・態度)
- ③上級学校訪問(調べ)や職業調べの内容を発表させたり、質問の回答から思考力・論理力を観察する(見方・考え方、技能、知識・理解)

令和3年度 年間授業計画

東京都立瑞穂農芸高等学校

教科	科目	講座名	単位数	対象学年	履修形態
家庭	生活産業情報	生活産業情報	2	第1学年	必履修

使用教科書 および 使用教材

教科書	教材
生活産業情報 実教出版	ビジネス文書実務検定試験模擬問題集3・4級 実教出版

年間計画表

学期	月	指導内容	予定時数	具体的な指導目標
一学期	4	画面の構成要素 時間割	6	・パソコン画面の構成要素の名称と機能を理解させる。 ・Wordを使用し、表の作成方法を習得させる。 ・ネットワークの基礎知識を習得させる。
	5	ネットワークの説明 パワーポイントの見本と下書き パワーポイント作品作りと発表 慣用句の意味調べ 書式設定	8	・パワーポイントの使用目的を理解し、基本的な作成方法を習得させる。発表を通して、より効果的な使用について理解させる。 ・テキストを利用し、慣用句の意味について理解させる。
	6	速度部門練習 文書部門練習 筆記問題対策	10	・書式設定の方法を習得させる。 ・より正確に、速くタイピングができるよう目指して練習に取り組ませる。 ・機械操作の基礎知識について、テキストの問題を通して理解させる。
	7	ネットワークを使用するためのルールについて	2	・Wordでの基本的な文書作成方法を習得させる。 ・Wordでの基本的な文書作成方法を習得し、制限時間内での作成を目指させる。
二学期	9	漢字練習 3級速度・文書問題練習 筆記問題対策	10	・ビジネス文書実務検定3級出題範囲の漢字の知識を習得させる。 ・検定3級範囲である、Wordでの基本的文書の作成・表の挿入・校正について理解し、習得させる。
	10	漢字練習 3級速度・文書問題練習 筆記問題対策	10	・受験級を決定し、目標に向けて意欲をもって練習させる。 ・より正確に、速くタイピングができるよう目指して練習に取り組ませる。
	11	漢字練習 3級速度・文書問題練習 筆記問題対策 模擬テスト ビジネス文書実務検定受験 情報モラルについて	8	・筆記試験範囲の学習を通して、パソコンや情報に関する基礎知識を習得させる。 ・ビジネス文書実務検定3級出題範囲の漢字の知識を習得させる。 ・筆記試験範囲の学習を通して、パソコンや情報に関する基礎知識を習得させる。
	12		2	
三学期	1	エクセル操作 表作成 関数の利用 情報モラルについて	6	・エクセルの基本操作について理解させる。 ・情報モラルについて理解させる。 ・1年間のまとめとして、エクセル、ワード、モラルについての確認させる。
	2	エクセル操作 表作成 関数の利用 情報モラルについて	6	
	3	まとめ	2	

評価の観点・方法

70

日々の授業や課題への取り組み、定期考査などを総合し評価する。

- ①定期考査で習熟度を図る(技能、知識・理解)
- ②ノートや課題を提出により取り組み姿勢を見る(関心・意欲・態度)
- ③発問に対する回答から思考力・論理力を観察する(見方・考え方、技能、知識・理解)

令和3年度 年間授業計画

東京都立瑞穂農芸高等学校

教科	科目	講座名	単位数	対象学年	履修形態
家庭	ファッション造形基礎	ファッション造形基礎	2	2	必修

使用教科書 および 使用教材

教科書	教材
「ファッション造形基礎」(実教出版)	教科書、裁縫セット、被服製作用品一式

年間計画表

学期	月	指導内容	予定時数	具体的な指導目標
一学期	4	・オリエンテーション ・ハーフパンツの製作	6	・市販の型紙を使い、自分のサイズを選び、裁断、印付けを行う。
	5	・ハーフパンツの製作	8	・各パーツを理解し、正しく縫えるように指導する。特に縫い目を利用したポケット作りを理解させる。
	6	・ハーフパンツの製作 ・パンツの種類と名称について	10	・パンツ本体を縫い、適当な長さのゴムを通して着用できる形にし、達成感を培う。
	7	・期末考査 ・着装発表 ・装飾	3	・仲間の作品を評価し、自己のプレゼンテーション能力を高めさせる。
二学期	9	・半袖シャツの製作	8	・上半身の身体の特徴を理解させる。市販の型紙を使い、自分のサイズを選び、裁断、印付けを行う。
	10	・半袖シャツの製作	8	・各パーツを理解し、正しく縫えるように指導する。ポケット、衿、袖の縫い方を理解させ、正しく縫えるように指導する。
	11	・半袖シャツの製作 ・技術検定(4級)の練習、検定試験	8	・技術検定4級(被服分野)の合格を目指し、指導する。
	12	・期末考査 ・半袖シャツの製作	3	・シャツのパーツを縫い合わせ、シャツの形を理解させる。
三学期	1	・半袖シャツの製作 ・衿の形と種類について	6	・シャツを完成させる事で、達成感を感じさせる。 ・衿の形の違いとシャツの種類を理解させる。
	2	・半袖シャツの装飾 ・色彩とカラーコーディネイト	6	・余り布を利用した小物製作等を行う。 ・色彩の基礎を学び、応用として流行色、民族衣装の独特な色彩やユニバーサルデザイン的な色彩感覚を養う。
	3	・学年末考査 ・着装発表	4	・仲間の作品を評価し、自己のプレゼンテーション能力を高めさせる。

評価の観点・方法

70

日々の授業や実習、課題への取り組み、定期考査などを総合し評価する。

- ①定期考査で習熟度を図る(技能・知識・理解)
- ②ノートや課題を提出により取り組む姿勢を見る(関心・意欲・態度)
- ③実習への取り組む姿勢を見る。(技能・知識・理解)

令和3年度 年間授業計画

東京都立瑞穂農芸高等学校

教科	科目	講座名	単位数	対象学年	履修形態
家庭	フードデザイン	フードデザイン	2	2	必修

使用教科書 および 使用教材

教科書	教材
フードデザイン 教育図書	教科書・副教材・調理器具

年間計画表

学期	月	指導内容	予定時数	具体的な指導目標
一学期	4	食品の調理性 牛乳・乳製品 日本と諸外国の食文化について 実習①包丁の使い方(きゅうり・大根)	6	各食品の成分や調理性を理解する。 オリパラ教育の一環として、和食の素晴らしさと、諸外国の食生活や食文化について理解する。 実習①包丁の技術を習得する。 きゅうりの半月切り・大根のかつらむき一千六本
	5	食品の調理性「卵」 実習②春の和風献立(筍ご飯・若竹汁・魚のホイル焼き) 中間考査	8	各食品の成分や調理性を理解する。 実習②筍の扱い方を理解する。味付け飯の調味を理解し、実践する。ホイル焼きの調理法を理解し、実践する。
	6	食品の調理性「魚介類・肉類」 実習③中華の日常食(あんかけ焼きそば・杏仁豆腐) 実習④お弁当(卵焼き・鱈のカレー揚げ・さつまいもの甘露煮) 期末考査	10	各食品の成分や調理性を理解する。 実習③いかの扱い方を学ぶ。寒天を使った菓子の作り方を学ぶ。 実習④厚焼き卵、あじのおろし方を学ぶ。弁当に向く味付けのしっかりした揚げ物・煮物の作り方を理解し、実践する。
	7	返却・解答・まとめ	2	
二学期	9	食品の調理性「豆類」 実習⑤和食(豆ご飯・天ぷら・茶碗蒸し)	10	各食品の成分や調理性を理解する。 実習⑤豆ご飯、天ぷら、揚げ物、茶碗蒸しの作り方を学ぶ。
	10	食品の調理性「野菜・果物」 実習⑥洋食の日常食(ハンバーグ・マヨネーズ・ポテトサラダ) 家庭科技術検定4級実施	10	各食品の成分や調理性を理解する。 実習⑥挽肉の性質と役割、その割合を理解する。面取りの目的・方法を学ぶ。マヨネーズソースの作り方を学ぶ。
	11	食品の調理性「いも類・でんぷん・穀類」 実習⑦クリスマス献立(クラブハウスサンドウィッチ・フライドチキン・ロールケーキ) 実習⑧正月料理(伊達巻・田作り・お雑煮) 期末考査	8	各食品の成分や調理性を理解する。 実習⑦クラブハウスサンド、から揚げの作り方を学ぶ。スポンジケーキの作り方、卵の共立て法と別立て法を学ぶ。生クリームの扱い方を学ぶ。 実践⑧日本の伝統的な正月料理について学ぶ。
	12	返却・解答・まとめ	2	
三学期	1	食品の調理性「油脂類」 実習⑨和食の日常食(肉じゃが・鰯のつみれ汁・青菜の胡麻和え)	6	各食品の成分や調理性を理解する。 実習⑨煮物、和え物の要点を理解する。鰯の手開きと青身魚の生臭みを除く料理法を学ぶ。つみれの作り方を習得する。
	2	食品の調理性「寒天・ゼラチン、調味料・香辛料」 実習⑩中華の日常食(餃子・棒棒鶏) 実習⑪洋食の日常食(ビーフシチュー・ロールパン)	6	各食品の成分や調理性を理解する。 実習⑩餃子の作り方を学ぶ。鶏肉のゆで方、調味の仕方、薬味ソースの作り方を理解し、実践する。 実習⑪肉を使った洋風煮込み料理の作り方を学ぶ。基本的なパンの作り方を通してイーストについて学び、実践する。
	3	学年末考査 返却・解答・まとめ	2	

評価の観点・方法

70

日々の授業や実習、課題への取り組み、定期考査などを総合し評価する。

- ①定期考査で習熟度を図る(技能、知識・理解)
- ②ノートや課題を提出により取り組む姿勢を見る(関心・意欲・態度)
- ③実習への取り組む姿勢を見る。(技能、知識・理解)

令和3年度 年間授業計画

東京都立瑞穂農芸高等学校

教科	科目	講座名	単位数	対象学年	履修形態
家庭科	子どもの発達と保育	子どもの発達と保育	2	2	必修

使用教科書 および 使用教材

教科書	教材
「子どもの発達と保育 育つ・育てる・育ち合う」 教育図書	

年間計画表

学期	月	指導内容	予定時数	具体的な指導目標
一 学 期	4	子どもの生活・子どもの生活と健康 子どもの発達と特性	6	子どもに対して興味・関心を持ち、積極的にかかわっていきこうとする意欲を育てる。乳幼児の生活の特徴を学ぶ。 生涯発達における乳幼児期の重要性を学ぶ。
	5	子どもの生活・子どもの生活と健康 子どもの発達と特性 子どもの福祉と子育て支援	8	乳幼児の生活の特徴を学ぶ。生活習慣形成の意義と重要性を理解する。乳幼児期の食生活の特徴を理解し、発育・発達に応じた食事の意味を考え理解させる。 乳幼児期の発達と環境、発達観と保育観を学ぶ。
	6	子どもの生活・子どもの生活と健康 子どもの発達と特性 子どもの福祉と子育て支援	10	乳幼児の生活の特徴を学ぶ。乳幼児期の食生活の特徴を理解し、発育・発達に応じた食事の意味を考え理解させる。 児童福祉の理念と関係法規・制度について、理解させる。
	7	子どもの生活・子どもの生活と健康 子どもの発達と特性 子どもの福祉と子育て支援	2	乳幼児の生活の特徴を学ぶ。乳幼児期の食生活の特徴を理解し、発育・発達に応じた食事の意味を考え理解させる。 児童福祉の理念と関係法規・制度について、理解させる。
二 学 期	9	子どもの生活・子どもの生活と健康 子どもの発達と特性 子どもの福祉と子育て支援	10	文化財の種類を知り、それらを選択する評価できるようにする。 福祉にかかわる施設について理解させる。
	10	保育検定 音楽リズム表現活動 言語表現活動	10	4つの領域の保育検定に取り組むことで保育にかかわる知識技術を身につける。
	11	保育検定 家庭看護活動 造形表現技術	8	4つの領域の保育検定に取り組むことで保育にかかわる知識技術を身につける。
	12	子どもの健康管理 子どもの保育	2	乳幼児の病気の特徴を理解させ、基本的な対応についての知識を身につける。 保育の意義と目標について理解させる。
三 学 期	1	子どもの健康管理 子どもの保育	6	身体や歯に健康状態の観察の重要性と方法を理解させる。保育の方法について理解させる。
	2	子どもの健康管理 子どもの保育	6	乳幼児の発達について理解し、正しい発達観を持たせる。保育の環境について理解させる。 世界の保育について学び、東京オリンピックに向けた国際理解を深める。
	3	まとめ	2	子どもの生活の援助のための世話の仕方やはたらきかけ、受容の大切さを認識させる。

評価の観点・方法

70

授業への出席の状況や学習の取り組み、定期考査を総合的に判断し、評価する。

- ①定期考査で技能、知識・理解の到達度を判断する。
- ②各授業でのワークシートの記入状況や完成度、課題提出により取り組む姿勢(関心・意欲・態度)を判断する。
- ③質問の回答を発表させ、知識・理解を観察する。歌や朗読の技術についても積極的に取り組んでいるかを観察する。

令和3年度 年間授業計画

東京都立瑞穂農芸高等学校

教科	科目	講座名	単位数	対象学年	履修形態
家庭	調理	調理(食物調理類型)	4	2	必修

使用教科書 および 使用教材

教科書	教材
フードデザイン 教育図書	教科書・副教材・調理器具

年間計画表

学期	月	指導内容	予定時数	具体的な指導目標
一学期	4	和菓子	12	和菓子 歴史・材料について理解する。 実習 こしあん・母大福の作り方を理解し、調理技術を習得する。
	5	和菓子 加工食品 中間考査	16	和菓子 歴史・材料について理解する。 加工食品 味噌について理解する。 調理実習 桜餅(関東風・関西風)、味噌 作り方を理解し、調理技術を習得する。
	6	和菓子	20	和菓子 歴史・材料について理解する。 調理実習 柏餅・わらび餅、練りきり講習会、水羊羹・利休饅頭 黄身時雨・いも羊羹、作り方を理解し、調理技術を習得する。
	7	期末考査 返却・解答・まとめ	4	
二学期	9	洋菓子 テーブルコーディネート	20	洋菓子 歴史・材料・ケーキの種類を理解する。 調理実習 ガトーショコラ・シフォンケーキ・クッキー・ブラウニー作り 方を理解し、調理技術を習得する。 テーブルコーディネート テーブルコーディネート講習の受講を通 じて、フラワーアレンジメントやテーブルナブキンのたため方の種類 を知り、技術を習得する。
	10	洋菓子 文化祭準備 中間考査	20	創作和菓子を2種類作る。 テーブルコーディネート班活動を行う。 販売品製作を行う。
	11	洋菓子 世界のお菓子	16	洋菓子 歴史・材料・ケーキの種類を理解する。 オリハラ教育の一環で世界のお菓子の歴史や文化を学ぶ。 調理実習 シュークリーム・デコレーションケーキ 作り方を理解し、調理技術を習得する。
	12	期末考査 返却・解答・まとめ	4	
三学期	1	中国点心	12	中国料理 点心・中国茶・食生活について理解する。 調理実習 包子・焼売・ねぎパイ 作り方を理解し、調理技術を習得する。
	2	中国点心 加工食品	12	中国料理 点心・中国茶・食生活について理解する。 加工食品 豆腐・大豆の加工品について理解する。 調理実習 豆腐・卵の花、大根餅・揚げ饅頭 作り方を理解し、調理技術を習得する。
	3	期末考査 返却・解答・まとめ	4	

評価の観点・方法

140

日々の授業や実習、課題への取り組み、定期考査などを総合し評価する。

- ①定期考査で習熟度を図る(技能・知識・理解)
- ②ノートや課題を提出により取り組む姿勢を見る(関心・意欲・態度)
- ③実習への取り組む姿勢を見る。(技能・知識・理解)

令和3年度 年間授業計画

東京都立瑞穂農芸高等学校

教科	科目	講座名	単位数	対象学年	履修形態
家庭	ファッション造形	ファッション造形 (服飾デザイン類型)	4	第2学年	必修

使用教科書 および 使用教材

教科書	教材
ファッション造形 実教出版	教科書・副教材・被服製作用具

年間計画表

学期	月	指導内容	予定時数	具体的な指導目標
一学期	4	(3)和服製作 (浴衣の製作) ア 材料の選択 ウ 縫製	12	○オリエンテーション (3)和服製作(ひとえ長着・浴衣) ・和服を中心とした世界の民族衣装の特徴を理解させる。 ・浴衣の各部の名称の理解 ウ 縫製
	5	(3)和服製作 (浴衣の製作) イ 裁断 ウ 縫製	16	・和裁に必要な用具について(指めきつくり) ・和裁の基礎縫い ・運針 ア 材料の選択 ・浴衣の反物選択 イ 裁断
	6	(3)和服製作 (浴衣の製作) ウ 縫製	20	・出来上がり寸法と裁ち切り寸法の関係を理解させる ・柄合わせの重要性を理解させる ・布地に適した印付けを理解させる ウ 縫製
	7	(3)和服製作 (浴衣の製作) ウ 縫製	4	・布地に適した糸、針目、縫い方、縫い代の始末など縫製に関する技術を理解させる。 ○袖の縫製 ○身頃：背縫い ○いしきあて、肩あて ○おくみ縫い ○脇縫い
二学期	9	(3)和服製作 (浴衣の製作) ウ 縫製 エ 仕上げ	20	ウ 縫製 布地に適した糸、針目、縫い方、縫い代の始末など縫製に関する技術を理解させる。 ○えり本くけ ○袖付け エ 仕上げ
	10	(3)和服製作 (浴衣の製作) オ 着装 (2)洋服製作 (セミタイトスカート)	20	・布地や作品に応じた適切な仕上げ方やたたみ方を理解させる。 オ 着装 ・正しい着装ができるように、着付け実習を行う。 (2)洋服製作 ・洋服の製作に関する理論を理解し、技術の習得をする。
	11	(4)総合実習 ・ファッションショーに向けて、各係りで課題をみつけ、行動する。 (2)洋服製作 (セミタイトスカート) オ 仮縫いと補正	16	ア デザイン選択 ・体型に合わせたデザインを選択 イ 材料選択と取り扱い ・着用品に合わせた材料について、性能、材質、色、柄などを考慮して選択し、取り扱うことができるようにする。
	12	(2)洋服製作 (セミタイトスカート) カ 縫製	4	ウ パターンメイキング ・デザインや体型に応じて、適切にパターンを展開できるようにする。 エ 裁断 ・布地に適した地直し、布地の方向の特徴や裁ち
三学期	1	(2)洋服製作 (セミタイトスカート) カ 縫製	12	(2)洋服製作 カ 縫製 ・布地に適した糸、針、針目、縫い方、縫い代の始末など、縫製に関する内容を理解し、適切に縫製できるようにする。 ・用具を適切に活用できるようにする。
	2	(2)洋服製作 (セミタイトスカート) カ 縫製 キ 仕上げ ク 着装	12	○裏布本縫い ○表布、裏布の中どじ ○裏地の縫い代の始末 ○ベルト付けしつけ ○ベルトつけ ○カギホック、糸ループつけ
	3	まとめ 三年次にむけて	4	キ 仕上げ ・布地作品に応じた適切な仕上げができるようにする。 ク 着装 ・着用品と場所にふさわしい着装ができるようにする。

評価の観点・方法

140

日々の授業や課題への取り組み、定期考査などを総合し評価する。

- ①作品や定期考査で習熟度を図る(技能・知識・理解)
- ②実習に積極的に取り組む姿勢、課題の提出締め切りを守り、提出する姿勢を見る(関心・意欲・態度)
- ③発問に対する回答から思考力・論理力を観察する(見方・考え方、技能・知識・理解)

令和3年度 年間授業計画

東京都立瑞穂農芸高等学校

教科	科目	講座名	単位数	対象学年	履修形態
家庭	子ども文化	子ども文化(保育福祉類型)	2	第2学年	必修

使用教科書 および 使用教材

教科書	教材
子ども文化(教育図書)	教科書、プリント、各種児童文化財

年間計画表

学期	月	指導内容	予定時数	具体的な指導目標
一学期	4	・子ども文化とは ・子どもと行事	6	・子ども文化を歴史的観点で考えさせる。 ・カレンダーづくりをし、行事を絵図にし、子どもに四季を感じ取らせ、数字や曜日に興味を持たせる工夫を学ぶ。
	5	・子どもと遊び ・子どもと文学	8	・子どもが「遊び」を通して様々な力をつけることや遊びはそれ自体が子どもにとっての目的であることを理解させる。 ・運動遊びや伝承遊びを体験しながら子ども達が遊ぶことの意義を理解させる。
	6	・子どもと表現活動 ・制作活動	10	・制作活動を通して制作技術を体得する。 ・ポップアップカードを製作し、様々な工作技術を得る。子どもが喜ぶ姿を想定し、仕掛けの工夫を考える。
	7	・子どもと表現活動 ・子どもと文学	2	・言葉や音楽を通じた関わりは、子どもの想像力を高め、見る、聴く、話す力を大きく成長させることを理解し、実践する。
二学期	9	・子どもと表現活動	10	・パネルシアターの制作を通して、色の表現や工具の使い方、子どもへの表現方法の実際について理解する。実演の練習により、子どもを惹きつける方法について工夫し、発表できるようになる。
	10	・こどもと表現活動	10	
	11	・子どもと表現活動 ・子ども文化実習	8	・パネルシアターの練習。子ども達の前での発表を行うことで、児童文化活動の意義を理解することができる。
	12	・音楽表現活動	2	・歌唱やピアノ演奏に必要な音楽の基礎知識を身につける。
三学期	1	・音楽表現活動	6	子どもと音楽の関係性を理解させる。歌唱やピアノ演奏の基礎技術を習得させる。
	2	・音楽表現活動	6	子どもと音楽の関係性を理解させる。歌唱やピアノ演奏の基礎技術を習得させる。 ・リトミック体験を通して、子どもや障がい者と音楽を通じてともに楽しみ学ぶことについて考え、パラリンピックに向けた障がい
	3	・音楽表現活動	2	子どもと音楽の関係性を理解させる。歌唱やピアノ演奏の基礎技術を習得させる。

評価の観点・方法

70

- 日々の授業や課題への取り組み、定期考査などを総合し評価する。
- ①定期考査で習熟度を図る。課題提出物で技術の習得状況を図る。(技能・知識・理解)
 - ②ファイルや課題を提出により取り組む姿勢を見る。(関心・意欲・態度)
 - ③課題提出物での創意工夫や発表の様子、レポートを見る。(思考・判断・表現)

令和3年度 年間授業計画

東京都立瑞穂農芸高等学校

教科	科目	講座名	単位数	対象学年	履修形態
家庭	生活と福祉	生活と福祉(保育福祉類型)	2	2年	必修

使用教科書 および 使用教材

教科書	教材
生活と福祉(実教出版)	生活と福祉(実教出版) プリント

年間計画表

学期	月	指導内容	予定時数	具体的な指導目標
一学期	4	人の一生と生活・健康、高齢化の現状と高齢者の特徴 介護・看護の実習と生活支援 (1)インスタントシニア体験 (2)ベッドメイキング実習	6	高齢者の特徴(老年病全般や麻痺)を知り、家庭や施設における介護や介助、看護について講義と実習を通して学び理解させる。 生活の中で使用しない難しい言葉や漢字が多数出てくるので、漢字テスト等を入れながら丁寧に指導し、定着を図る。
	5	介護・看護の実習と生活支援 (3)ボディメカニクスの原理とベッド上の体位交換実習 (4)車いすの移乗・移動の介護実習 (5)歩行介助実習	8	実習においては、常にペアで介護者と利用者の両方の役をすることにより、介護される側の視点も持たせ、より学習を深化させる。また、様々な相手とペアを組むことにより、広く受け入れる気持ちを養う。
	6	介護・看護の実習と生活支援 (6)衣服の着脱の介護実習 施設実習 特別養護老人ホーム訪問、見学、交流、ハンドベル披露など	10	施設実習を行いながら、現場での学びを取り入れる。様々な施設の種類やその根拠となる法律について理解させる。
	7	期末考査 介護・看護の実習と生活支援 (7)身体の清潔の介護実習(部分浴・機械浴) 夏休み施設実習について	2	地域に学びの場を広く持つことにより、あいさつする姿勢や感謝の心を育てる。
二学期	9	夏季休業中の施設実習の発表会 介護・看護の実習と生活支援 (8)訪問入浴実習 美容福祉 実習	10	家庭や施設における介護や介助、看護について講義と実習を通して学び理解させる。 生活の中で使用しない難しい言葉や漢字が多数出てくるので、漢字テスト等を入れながら丁寧に指導し、定着を図る。
	10	介護・看護の実習と生活支援 (9)排泄介助 施設実習 デイサービスセンター訪問、レクリエーション参加	10	実習においては、常にペアで介護者と利用者の両方の役をすることにより、介護される側の視点も持たせ、より学習を深化させる。また、様々な相手とペアを組むことにより、広く受け入れる気持ちを養う。
	11	看護の実習 (1)バイタルサイン(生命徴候)の見方 (2)誤嚥と窒息 (3)転倒・脱水	8	施設実習を行いながら、現場での学びを取り入れる。様々な施設の種類やその根拠となる法律について理解させる。
	12	期末考査 介護・看護の実習と生活支援 (10)食事介助実習	2	地域に学びの場を広く持つことにより、あいさつする姿勢や感謝の心を育てる。
三学期	1	視覚障がいについて ブラインド体験・介助体験実習 点字を学ぶ	6	視覚障がいや聴覚障がいについて学び、ノーマライゼーションの重要性と多様なコミュニケーションの仕方について学ぶ。
	2	聴覚障がいについて(口話、空書、指文字、手話など) 講演「視覚障がい者の生活の理解」 心身障害者施設実習 施設訪問、交流、ペーパーサート披露	6	点字について学び、視覚障がいの方へのメッセージを作成し読んでもらうことにより、学びを深化させる。
	3	学年末考査 学年のまとめ	2	年間の学習を通して、自らの生活や今後の人生、進路について深く考えさせる。

評価の観点・方法

70

日々の授業や実習への取り組み、定期考査などを総合し評価する。

- ①定期考査で学習の定着、習熟度を図る(技能、知識・理解)
- ②ノートやレポートの提出、実習への参加の姿勢により取り組む姿勢を見る(関心・意欲・態度)
- ③施設実習の内容を発表させたり、質問の回答から思考力・論理力を観察する(見方・考え方、技能、知識・理解)

令和3年度 年間授業計画

東京都立瑞穂農芸高等学校

教科	科目	講座名	単位数	対象学年	履修形態
家庭	課題研究	課題研究	3	3	必履修

使用教科書 および 使用教材

教科書	教材
家庭基礎 自立・共生・創造 東京書籍	各類型の定めたもの

年間計画表

学期	月	指導内容	予定時数	具体的な指導目標
一学期	4	・ガイダンス ・調査、研究、実験、作品製作等	9	・しっかりと企画書製作を行う。 ・研究計画作成、助言を綿密に行う。
	5	・調査、研究、実験、作品製作等	12	・調査、研究、製作を進めたら、的確な助言、指導をその都度行う。
	6	・調査、研究、実験、作品製作等	15	・調査、研究、製作を進めたら、的確な助言、指導をその都度行う。
	7	・調査、研究、実験、作品製作等 ・類型内中間発表	6	・調査、研究、製作を進めたら、的確な助言、指導をその都度行う。夏季休業中を有効に利用する助言をする。
二学期	9	・調査、研究、実験、作品製作等	15	・調査、研究、製作を進めたら、的確な助言、指導をその都度行う。
	10	・研究まとめ	15	・発表のための原稿作成やまとめを行い、的確な助言、指導、をその都度行う。
	11	・研究のまとめ ・類型内発表	15	・発表方法の指導と助言、を行い、振り返り等を綿密に行う。
	12	・課題研究発表会に向けての準備 ・類型内発表会	6	・類型全体として発表に臨む心構えを養い、それぞれの役割分担を全うできるよう、指導する。
三学期	1	・最終まとめ、発表準備 ・課題研究発表会	12	・発表の内容を精査し、本番に向けて全体で取り組む姿勢を養う。(成功体験)
	2			
	3			

評価の観点・方法

105

研究の記録(ノート)・作品や実験実習・研究成果のまとめや発表などと日々の授業や研究への取り組みを総合し評価する。

- ① 研究の記録、まとめや中間発表・発表から習熟度を見る(技能、知識・理解)
- ② 研究の記録やまとめ、作品の提出状況により取り組む姿勢を見る(関心・意欲・態度)
- ③ 各学期の発表会や相互評価レポートから思考力・論理力を観察する(見方・考え方、技能、知識・理解)

令和3年度 年間授業計画

東京都立瑞穂農芸高等学校

教科	科目	講座名	単位数	対象学年	履修形態
家庭	フードデザイン	フードデザイン	2	3	自由選択

使用教科書 および 使用教材

教科書	教材
「フードデザイン」(教育図書)	教科書・副教材・調理器具

年間計画表

学期	月	指導内容	予定時数	具体的な指導目標
一学期	4	・オリエンテーション ・日本料理について ・実習室の使い方	6	日本料理の基本、はし使い等を理解させる。オリバラ教育の一環として、和食の大切さについて考えさせる。
	5	・実習①春の和風献立(筍ご飯・若竹汁・魚のホイル焼き) ・栄養素について ・世界の食文化について(イタリア料理) ・実習②イタリア料理(ピッツァ、ミネストローネ、パンナコッタ)	10	実習の基本を理解させ、実習の記録を作成させる。家庭基礎で学んだ5大栄養素を復習し、働きと特徴を理解する。
	6	・中国料理の特徴、マナーについて ・実習③中国料理の日常食(あんかけ焼きそば、杏仁豆腐) ・和食の献立 ・実習④お弁当(卵焼き、鰹カレー揚げ)	10	中国料理の歴史、文化等を理解し、マナー等を理解させ、実習する。和食の献立を理解し、実習する。「お弁当」の基本と条件を理解し、実習する。
	7	・期末考査	4	1学期のまとめ
二学期	9	実習⑤日本料理の献立(豆ごはん、天ぷら、茶碗蒸し) 実習⑥西洋料理の献立(ハンバーグ、ポテトサラダ、マヨネーズ)	10	日本料理の歴史、文化等を理解し、マナー等を理解させ、実習する。西洋料理の歴史、文化等を理解し、マナー等を理解させ、実習する。
	10	・西洋料理の特徴、マナーについて	10	西洋料理の歴史、文化等を理解し、マナー等を理解させ、実習する。
	11	・行事食について ・実習⑦(クリスマス料理) ・実習⑧(正月料理)	10	行事食の種類や言い伝え等を理解し、実習する。
	12	期末考査	2	2学期のまとめ
三学期	1	・1年間のまとめ ・実習⑨中国料理の日常食(餃子、棒棒鶏) ・実習⑩(エコクッキング) 卒業考査	8	中国料理の歴史、文化等を理解し、マナー等を理解させ、実習する。「自ら考えて”食生活行動”ができる」大人になる事を考えさせる。
	2			
	3			

評価の観点・方法

70

日々の授業や課題への取り組み、定期考査などを総合し評価する。

- ①定期考査で習熟度を図る(技能・知識・理解)
- ②ノートや課題を提出により取り組む姿勢を見る(関心・意欲・態度)
- ③調理実習での取り組みを観察する(技能・知識・理解)

令和3年度 年間授業計画

東京都立瑞穂農芸高等学校

教科	科目	講座名	単位数	対象学年	履修形態
家庭	食文化	食文化(食物調理類型)	2	3	必修選択

使用教科書 および 使用教材

教科書	教材
フードデザイン(教育図書)	教科書・副教材・ノート・プリント

年間計画表

学期	月	指導内容	予定時数	具体的な指導目標
一学期	4	メキシコの食文化	6	国・歴史・食生活について理解する。タコス・ワカモーレの作り方、使用食材を理解する。調理実習により技術を習得し、試食を通して料理・味を理解する。
	5	スペインの食文化 イタリアの食文化	8	国・歴史・食生活について理解する。パエリア・トルティーヤ、ピッツァ・ミネストローネ・スコーンの作り方、使用食材を理解する。調理実習により技術を習得し、試食を通して料理・味を理解する。
	6	イギリスの食文化 タイ・ベトナムの食文化	10	国・歴史・食生活について理解する。スコーン、フィッシュ&チップス、トムヤムクン、フォーの作り方、使用食材を理解する。調理実習により技術を習得し、試食を通して料理・味を理解する。
	7	期末考査	6	これまでの学習の理解を図る
二学期	9	世界の料理コンテスト ドイツの食文化 沖縄の食文化	10	ウインナーソーセージ・ポテトパンケーキ、タコライス・チャンプルー・揚げ菓子などの作り方、使用食材を理解する。調理実習により技術を習得し、試食を通して料理・味を理解する。
	10	文化祭準備 ロシアの食文化	10	国・歴史・食生活について理解する。これまでの学習の理解を図る
	11	ロシアの食文化	8	ボルシチ・ブリヌイなどの作り方、使用食材を理解する。調理実習により技術を習得し、試食を通して料理・味を理解する。
	12	インド・韓国の食文化 期末考査	4	国・歴史・食生活について理解する。ピピンバ・チジミの作り方、使用食材を理解する。調理実習により技術を習得し、試食を通して料理・味を理解する。
三学期	1	韓国の食文化 インドの食文化	6	国・歴史・食生活について理解する。カレー・ラッシーなどの作り方、使用食材を理解する。調理実習により技術を習得し、試食を通して料理・味を理解する。
	2	卒業考査	2	これまでの学習の理解を図る
	3			

評価の観点・方法

70

日々の授業や課題への取り組み、定期考査などを総合し評価する。

- ①定期考査で習熟度を図る(技能・知識・理解)
- ②ノートや課題を提出により取り組む姿勢を見る(関心・意欲・態度)
- ③調理実習での取り組みを観察する(技能・知識・理解)

令和3年度 年間授業計画

東京都立瑞穂農芸高等学校

教科	科目	講座名	単位数	対象学年	履修形態
家庭	調理	調理(食物調理類型)	3	3	必修選択

使用教科書 および 使用教材

教科書	教材
フードデザイン 教育図書	教科書・副教材・調理器具

年間計画表

学期	月	指導内容	予定時数	具体的な指導目標
一学期	4	日本料理について 歴史・構成・特徴・マナー	9	日本料理の特徴について理解する。 日本料理の歴史(本膳・懐石・会席料理を中心に)について理解する。
	5	【実習】日本料理① 赤飯・変わり揚げ・えびしんじょ椀 【実習】日本料理② 鯉のたたき・飛龍頭の煮物・冷やし鉢・ご飯	12	【実習】日本料理① 春夏向け会席料理の作り方、調理技術を習得する。 【実習】日本料理② 春夏向け会席料理の作り方、調理技術を習得する。
	6	食物検定3級(筆記) 西洋料理について 歴史・構成・特徴・マナー 【実習】西洋料理① 前菜・オニオンスープ・まぐろのプロバンス風	15	西洋料理の特徴について理解する。 供応食(ディナー、ビュッフェ)の種類と献立作成について理解する。 【実習】西洋料理① 西洋料理の供応食の作り方、調理技術を習得する。
	7	食物検定3級(実技) 創作洋菓子デザイン 期末考査	6	創作洋菓子(文化祭展示作品)のデザインを考え、絵で表現できる。
二学期	9	中国料理について 歴史・構成・特徴・マナーについて 【実習】中国料理① 前菜・酢豚・エビのチリソース	15	中国料理の特徴について理解する。むだのない材料の使い方、乾燥物、香辛料の利用、合理的な油の使用、大皿盛、数少ない調理器具などについて理解する。 【実習】中国料理① 中国料理の作り方、調理技術を習得する。
	10	【実習】西洋料理② 豚肉のソテー・ニースサラダ・ピシソワーズ 文化祭販売品試作 (パウンドケーキ・どら焼き) 文化祭展示作品制作(創作洋菓子) 販売品準備(パウンドケーキ)	15	西洋料理の特徴について理解する。供応食(ディナー、ビュッフェ)の種類と献立作成について理解する。 【実習】西洋料理② 西洋料理の供応食の作り方、調理技術を習得する。 文化祭販売品について試作を行い、作り方を習得する。 洋菓子のデザインについての基本技術を習得する。
	11	立食パーティ計画・試作 【実習】くるみパン	12	テーブルコーディネートの基本事項をふまえ、食事のテーマにふさわしい食卓の整え方や周囲の環境づくりについて理解し、計画を立てる。供応食に適した献立作成をすることができる。作成した献立で調理を行い、人数に適した量で材料計算ができる。 製パンの工程を理解する。
	12	立食パーティ計画・準備 期末考査	6	試作を踏まえ、供応食にふさわしい量の調節と材料計算ができる。パーティに向けて、食事とともに環境を整え、コーディネートによってふさわしい雰囲気作りをする準備ができる。
三学期	1	立食パーティ 【実習】贈り物用クッキー 【実習】パン(バターロール生地の創作パン)	12	供応食について、各メニューの作り方を習得する。 食べる人に配慮したサービスの方法とマナーを身につける。
	2	卒業考査	3	
	3			

評価の観点・方法

105

日々の授業や実習、課題への取り組み、定期考査などを総合し評価する。

- ①定期考査、小テスト等で習熟度を図る(技能・知識・理解)
- ②ノートや課題を提出により取り組む姿勢を見る(関心・意欲・態度)
- ③実習への取り組む姿勢を見る。(技能・知識・理解)

令和3年度 年間授業計画

東京都立瑞穂農芸高等学校

教科	科目	講座名	単位数	対象学年	履修形態
家庭	生活と福祉	生活と福祉	2	3年	自由選択

使用教科書 および 使用教材

教科書	教材
生活と福祉(実教出版)	プリント

年間計画表

学期	月	指導内容	予定時数	具体的な指導目標
一学期	4	人の一生と生活・健康、高齢化の現状と高齢者の特徴 介護・看護の実習と生活支援 (1)インスタントシニア体験 (2)ベッドメイキング実習	6	高齢者の特徴(老年病全般や麻痺)を知り、家庭や施設における介護や介助、看護について講義と実習を通して学び理解させる。 生活の中で使用しない難しい言葉や漢字が多数出てくるので、漢字テスト等を入れながら丁寧に指導し、定着を図る。
	5	介護・看護の実習と生活支援 (3)ボディメカニクスの原理とベッド上の体位交換実習 (4)車いすの移乗・移動の介護実習 (5)歩行介助実習	8	実習においては、常にペアで介護者と利用者の両方の役をすることにより、介護される側の視点も持たせ、より学習を深化させる。また、様々な相手とペアを組むことにより、広く受け入れる気持ちを養う。
	6	介護・看護の実習と生活支援 (6)衣服の着脱の介護実習 (7)身体の清潔の介護実習(部分浴・機械浴) 施設実習 特別養護老人ホーム訪問、見学、交流、ハンドベル披露など	10	施設実習を行いながら、現場での学びを取り入れる。様々な施設の種類やその根拠となる法律について理解させる。
	7	期末考査 介護・看護の実習と生活支援 (8)訪問入浴実習(9)排泄介助	2	地域に学びの場を広く持つことにより、あいさつする姿勢や感謝の心を育てる。
二学期	9	美容福祉 実習 看護の実習 (1)バイタルサイン(生命徴候)の見方 (2)誤嚥と窒息	10	家庭や施設における介護や介助、看護について講義と実習を通して学び理解させる。 生活の中で使用しない難しい言葉や漢字が多数出てくるので、漢字テスト等を入れながら丁寧に指導し、定着を図る。
	10	施設実習 デイサービスセンター訪問、レクリエーション参加 看護の実習(3)転倒・脱水 介護・看護の実習と生活支援(10)食事介助実習	10	実習においては、常にペアで介護者と利用者の両方の役をすることにより、介護される側の視点も持たせ、より学習を深化させる。また、様々な相手とペアを組むことにより、広く受け入れる気持ちを養う。
	11	保育分野 手作りおもちゃづくり 手作り絵本 製作	8	施設実習を行いながら、現場での学びを取り入れる。様々な施設の種類やその根拠となる法律について理解させる。
	12	期末考査 手作り絵本 製作 聴覚障がいについて(口話、空書、指文字、手話など)	2	高齢者施設や障がい者施設でのレクリエーションや保育施設でのあそびを考え、手作りおもちゃや絵本を製作する。 地域に学びの場を広く持つことにより、あいさつする姿勢や感謝の心を育てる。
三学期	1	視覚障がいについて ブラインド体験・介助体験実習 点字を学ぶ 心身障害者施設実習 施設訪問、交流、ペアサート披露 手作り絵本発表会	6	視覚障がいや聴覚障がいについて学び、ノーマライゼーションの重要性と多様なコミュニケーションの仕方について学ぶ。 点字について学び、視覚障がいの方へのメッセージを作成し読んでもらうことにより、学びを深化させる。
	2	卒業考査 講演「視覚障がい者の生活の理解」	6	自分で製作した絵本を発表し、お互いに評価することで多彩な絵本の魅力について理解させる。
	3		2	年間の学習を通して、自らの生活や今後の人生、進路について深く考えさせる。

評価の観点・方法

70

日々の授業や実習への取り組み、定期考査などを総合し評価する。

- ①定期考査で学習の定着、習熟度を図る(技能・知識・理解)
- ②ノートやレポート、手作り絵本の提出、実習への参加の姿勢により取り組み姿勢を見る(関心・意欲・態度)
- ③施設実習の内容を発表させたり、質問の回答から思考力・論理力を観察する(見方・考え方、技能・知識・理解)

令和3年度 年間授業計画

東京都立瑞穂農芸高等学校

教科	科目	講座名	単位数	対象学年	履修形態
家庭	フードデザイン	フードデザイン	3	3	必修選択

使用教科書 および 使用教材

教科書	教材
フードデザイン(教育図書)	教科書・副教材・調理器具

年間計画表

学期	月	指導内容	予定時数	具体的な指導目標
一学期	4	和菓子	10	和菓子 歴史・材料について理解する 調理実習 こしあんの作り方を理解し、調理技術を習得する
	5	和菓子 中間考査	14	和菓子 歴史・材料について理解する 調理実習 いちご大福・桜もちの作り方を理解し、調理技術を習得する
	6	和菓子 食文化	16	和菓子 歴史・材料について理解する 調理実習 水羊羹・わらび餅の作り方を理解し、調理技術を習得する
	7	期末考査	4	食文化 イタリアについて国・歴史・食生活について理解する 調理実習 ラザニア・イタリアンサラダ・パンナコッタの作り方、使用食材を理解する。試食を通して料理・味を理解する。
二学期	9	洋菓子 和菓子と洋菓子の比較、食文化	15	洋菓子 歴史・材料・ケーキの種類を理解する オリバ教育の一環として和菓子と洋菓子の比較から世界の食文化について考える。 調理実習 シュークリームの作り方を理解し、調理技術を習得する
	10	洋菓子 中間考査	16	洋菓子 歴史・材料・ケーキの種類を理解する 調理実習 ガトーショコラ・シフォンケーキの作り方を理解し、調理技術を習得する
	11	洋菓子	15	洋菓子 歴史・材料・ケーキの種類を理解する 調理実習 デコレーションケーキの作り方を理解し、調理技術を習得する
	12	食文化 期末考査	4	食文化 タイ・ベトナムについて国・歴史・食生活について理解する 調理実習 トムヤムクンなどの作り方、使用食材を理解する。試食を通して料理・味を理解する。
三学期	1	食文化 1年間のまとめ	9	食文化 韓国について国・歴史・食生活について理解する 調理実習 ビビンバ・ナジミ・わかめスープなどの作り方、使用食材を理解する。試食を通して料理・味を理解する。
	2	卒業考査	2	
	3			

評価の観点・方法

105

日々の授業や課題への取り組み、定期考査などを総合し評価する。

- ①定期考査で習熟度を図る(技能・知識・理解)
- ②ノートや課題を提出により取り組む姿勢を見る(関心・意欲・態度)
- ③調理実習での取り組みを観察する(技能・知識・理解)

令和3年度 年間授業計画

東京都立瑞穂農芸高等学校

教科	科目	講座名	単位数	対象学年	履修形態
家庭	リビングデザイン	リビングデザイン	3	3年	必修選択

使用教科書 および 使用教材

教科書	教材
リビングデザイン(実教出版)	インテリア・カラー・ブック(日本色研事業株式会社)

年間計画表

学期	月	指導内容	予定時数	具体的な指導目標
一学期	4	住生活と住居の変遷 ・住居の変遷と住意識 日本の住居の変遷、近代日本の住居、住生活と環境 ・自然の環境と社会の環境	10	・日本の住居の変遷(原始、古代、中世、近世)について理解させる。 ・江戸時代の農家の造り(里山民家)の見学を通して、現代の造りとの違いに気づかせ、理解させる。 ・和室の造りと各部の名称を理解させる。 ・近代日本(明治～平成)の住居について理解させる。 ・間取りの読み方(R, DK, LDKなど)を理解させる。 ・住居にかかわる環境は自然・環境に分類できることを理解させる。
	5	・世界の住居(調べ学習・発表) 世界各地の気候や文化によって異なる住居を理解する ・日本の住居の地域性、風土・住居の形態(屋根・窓・床など) ・住居にかかわる環境は自然・環境に分類できることを理解する	14	
	6	・起居様式を理解し、それぞれの長所・短所について考える ・快適な室内環境を各構成要素で実験や実習を通して理解する	15	
	7	期末考査	4	
二学期	9	・色彩の基本 色相・明度・彩度の違い(PCCSを用いて) ・PCCSの色彩調和の考え方をもち、色相とトーンの2つの要素から基本的な配色を考える	15	PCCSを用いて、色相・明度・彩度の違いを理解させる。インテリアと人間の生活が密接に関係している空間であることを理解させる。面積や形、配置などの工夫によって、色彩を効果的に演出する配色を考えさせる。色の対比・補色残像・面積の効果について理解させる。
	10	・インテリアのスタイル(モダン・ナチュラル・クラシック中心)の違いを理解する。テーマに合わせたカラーコーディネートを考える ・最新のユニバーサルデザインにはどのようなものがあるか調べる	16	インテリアのスタイル(モダン・ナチュラル・クラシック中心)の違いを理解させ、テーマに合わせたカラーコーディネートを考えさせる。国内外の建物・居室内・家具などの道具においての最新のユニバーサルデザインを調べる。
	11	・賃貸や売却物件の間取り図を見て、生活スタイルに適したものを選択することができる ・学校や地域においてユニバーサルデザインを必要とする箇所を見つけ、どのような改善策があるか考える ・選択した間取り図の物件でインテリアコーディネートを考える、インテリアを作る	14	最新のユニバーサルデザインを理解した上で、普段過ごす場所に不足はないか、課題を見つけ対策を考える。
	12	期末考査	3	様々な間取り図を読み、実際の賃貸や売却物件の間取り図を見て、生活スタイルに適したものを選択させ、インテリアコーディネートを考えさせる。ハンドメイドで制作した物で自分の暮らしを明るく工夫する。
三学期	1	・ライフステージと住居 将来の自分を想像し、ライフステージに適した住まいの間取り図を書くことができる ライフスタイルに合ったインテリア(カラー)コーディネートを考え、発表する	10	ライフステージと住居 将来の自分を想像し、ライフステージに適した住まいの間取り図を書くことができるようにする。 ライフスタイルに合ったインテリア(カラー)コーディネートを考え、発表させる。
	2	卒業考査	4	
	3		0	

評価の観点・方法

105

日々の授業や実習への取り組み、定期考査などを総合し評価する。

- ①定期考査で学習の定着、習熟度を図る(技能・知識・理解)
- ②ノートやレポートの提出、実習や実験への参加の姿勢により取り組み姿勢を見る(関心・意欲・態度)
- ③調べたことや考えたことを発表させたり、質問の回答から思考力・論理力を観察する(見方・考え方、技能、知識・理解)

令和3年度 年間授業計画

東京都立瑞穂農芸高等学校

教科	科目	講座名	単位数	対象学年	履修形態
家庭	子どもの発達と保育	子どもの発達と保育	3	3年	必修選択

使用教科書 および 使用教材

教科書	教材
子どもの発達と保育 育つ 育てる 育ち合う (教育図書)	プリント 施設実習の手引きの冊子 児童文化財全般(絵本・紙芝居・お話・歌)

年間計画表

学期	月	指導内容	予定時数	具体的な指導目標
一学期	4	≪保育≫「創作絵本製作」 子どもが主体となって創作する遊びや歌、言葉などを総合した子ども文化の重要性や、子どものための児童文化、児童文化財施設などの意義について。 ≪福祉≫介護・看護の実習と生活支援 (1)インスタントシニア体験(2)ベッドメイキング実習	9	子どもの発達と保育について、実習と講義を交えながら幅広く理解させる。 創作絵本の製作や読み聞かせ実習を、実際の保育園実習に生かせ自信につながるよう指導する。 高齢者の特徴(老年病全般や麻痺)を知り、家庭や施設における介護や介助、看護について講義と実習を通して学び理解させる。 生活の中で使用しない難しい言葉や漢字が多数出てくるので、漢字テスト等を入れながら丁寧に指導し、定着を図る。 実習においては、常にペアで介護者と利用者の両方の役をすることにより、介護される側の視点も持たせ、より学習を深化させる。また、様々な相手とペアを組むことにより、広く受け入れる気持ちを養う。 施設実習を行いながら、現場での学びを取り入れる。様々な施設の種類の種類やその根拠となる法律について理解させる。
	5	≪保育≫「創作絵本製作」 「造形表現活動」子どもの造形・描画表現の発達について。 「言語表現活動」想像力と思考力を育て、人間関係を深めるお話の効用。絵本の読み聞かせについて。 ≪福祉≫介護・看護の実習(3)体位交換実習(4)車いすの移乗・移動の実習	12	地域に学びの場を広く持つことにより、あいさつする姿勢や感謝の心を育てる。
	6	≪保育≫「創作絵本製作仕上げ」「読み聞かせ実習」「保育園実習1」 ≪福祉≫介護・看護の実習(6)衣服の着脱の介護実習 (7)身体の清潔の介護実習(部分浴・機械浴)	15	
	7	期末考査 ≪福祉≫介護・看護の実習 (8)訪問入浴実習	4	
二学期	9	≪保育≫「創作絵本発表会」 「ペープサートの創作・製作」「音楽リズム表現 ピアノ・歌」 ≪福祉≫介護・看護の実習 (9)美容福祉の実習	15	子どもの発達と保育について、実習と講義を交えながら幅広く理解させる。 創作絵本の製作や読み聞かせ実習を、実際の保育園実習に生かせ自信につながるよう指導する。 高齢者の特徴(老年病全般や麻痺)を知り、家庭や施設における介護や介助、看護について講義と実習を通して学び理解させる。 生活の中で使用しない難しい言葉や漢字が多数出てくるので、漢字テスト等を入れながら丁寧に指導し、定着を図る。 実習においては、常にペアで介護者と利用者の両方の役をすることにより、介護される側の視点も持たせ、より学習を深化させる。また、様々な相手とペアを組むことにより、広く受け入れる気持ちを養う。 施設実習を行いながら、現場での学びを取り入れる。様々な施設の種類の種類やその根拠となる法律について理解させる。
	10	≪保育≫ペープサートなどの創作や製作を行い、地域の児童福祉施設、児童文化施設などと連携を図り、上演を通じ地域の子どものとの交流を体験させる。 ≪福祉≫介護・看護の実習(10)バイタルサイン(生命徴候)の見方手話と点字	15	
	11	≪保育≫ペープサートなどの創作や製作を行い、地域の児童福祉施設、児童文化施設などと連携を図り、上演を通じ地域の子どものとの交流を体験させる。 ≪福祉≫手話と点字	13	
	12	期末考査	4	地域に学びの場を広く持つことにより、あいさつする姿勢や感謝の心を育てる。
三学期	1	≪福祉≫視覚障がいについて(ブラインド体験・介助体験実習 点字を学ぶ) 聴覚障がいについて(口話、空書、指文字、手話など)	9	視覚障がいや聴覚障がいについて学び、ノーマライゼーションの重要性と多様なコミュニケーションの仕方について学ぶ。 点字について学び、視覚障がいの方へのメッセージを作成し読んでもらうことにより、学びを深化させる。
	2	卒業考査 年間のまとめ 講演「視覚障がい者の生活の理解」	9	保育や子ども文化について、福祉についての年間の学習を通じて、自らの生活や今後の人生、進路について深く考えさせる。
	3			

評価の観点・方法

105

日々の授業や実習への取り組み、定期考査などを総合し評価する。

- ①定期考査で学習の定着、習熟度を図る(技能、知識・理解)
- ②ノートやレポートの提出、実習への参加の姿勢により取り組む姿勢を見る(関心・意欲・態度)
- ③施設実習の内容を発表させたり、質問の回答から思考力・論理力を観察する(見方・考え方、技能、知識・理解)

令和3年度 年間授業計画

東京都立瑞穂農芸高等学校

教科	科目	講座名	単位数	対象学年	履修形態
家庭	服飾手芸	服飾手芸	3	3	必修選択

使用教科書 および 使用教材

教科書	教材
「ファッション造形基礎」(実教出版)	裁縫用具一式

年間計画表

学期	月	指導内容	予定時数	具体的な指導目標
一学期	4	刺しゅうの基本	12	「手芸」に関する知識を理解させ、手縫いで作り上げる楽しさを会得させる。
	5	刺しゅうの小物製作	15	刺しゅうの基本のステッチを理解させ、クロスステッチの刺し方を理論的に理解させる。
	6	パッチワークの小物製作	15	パッチワークのピースを縫い合わせながら、色彩感覚(センス)を磨かせる。ファスナーつけの原理を理解させる。
	7	1学期のまとめ	3	これまでの実習を振り返りまとめる
二学期	9	クロスステッチの作品製作	15	オリジナルの図案を考えさせ、正しく、美しく、刺繍ができるように気をつけながら製作させる。
	10	縫いぐるみの製作	15	余り布を利用した「テディベア」を作成する。(編みぐるみも検討) 配色に関して、ユニバーサルデザインを取り入れる。
	11	クロスステッチの作品製作 縫いぐるみの製作	15	余り布を利用した「テディベア」を作成する。(編みぐるみも検討) 配色に関して、ユニバーサルデザインを取り入れる。
	12	編み物	6	編み物の技法を習得しマフラー、帽子を製作する。
三学期	1	編み物	9	編み物の技法を習得しマフラー、帽子を製作する。
	2			
	3			

評価の観点・方法

105

日々の授業や実習への取り組み、定期考査などを総合し評価する。

- ①定期考査で学習の定着、習熟度を図る(技能・知識・理解)
- ②作品の制作、ノートやレポートの提出、実習への参加の姿勢により取り組む姿勢を見る(関心・意欲・態度)
- ③調べたことや考えたことを発表させたり、質問の回答から思考力・論理力を観察する(見方・考え方、技能、知識・理解)

令和3年度 年間授業計画

東京都立瑞穂農芸高等学校

教科	科目	講座名	単位数	対象学年	履修形態
家庭	ファッション造形	ファッション造形 (服飾デザイン類型)	5	3	必修

使用教科書 および 使用教材

教科書	教材
「ファッション造形」(実教出版)	裁縫用具一式

年間計画表

学期	月	指導内容	予定時数	具体的な指導目標
一学期	4	・ファッション造形の要素(デザイン、構成) ・被服製作(ロングドレス、フォーマルワンピース、スーツ)	20	原型の成り立ち、試着、補正を経て、型紙作成を行う。
	5	・被服製作(ロングドレス、フォーマルワンピース、スーツ)	20	個々のイメージする作品を、手順を踏んで進めていく。その都度助言や指導を行う。
	6	・被服製作(ロングドレス、フォーマルワンピース、スーツ)	25	個々のイメージする作品を、手順を踏んで進めていく。その都度助言や指導を行う。
	7	・被服製作(ロングドレス、フォーマルワンピース、スーツ)	10	個々のイメージする作品を、手順を踏んで進めていく。その都度助言や指導を行う。
二学期	9	・被服製作(ロングドレス、フォーマルワンピース、スーツ)	25	作品の完成間近になり、最終確認を綿密に行い、その都度助言や指導を行う。
	10	・被服製作(ロングドレス、フォーマルワンピース、スーツ)	25	作品の完成間近になり、最終確認を綿密に行い、その都度助言や指導を行う。
	11	・被服製作(ロングドレス、フォーマルワンピース、スーツ) 完成、まとめ	25	文化祭での発表を終え、作品製作のまとめを行う。その都度適切な助言をする。
	12	・ファッションデザインと流行 ・被服製作(小物作り)	10	仲間の作品を鑑賞し、認め合う心を育む。作品のレポートに各自で調べた内容を組み込むように指導する。余り布等で小物を製作する。
三学期	1	・アパレル産業	15	ピンワークやディスプレイを通して、「産業」としてのアパレル業界を考えさせる。世界の様々なファッションを考え、国際理解を深める。ユニバーサルデザインについて理解する。
	2			
	3			

評価の観点・方法

175

・高校生活の「集大成」として、スーツ、フォーマルワンピース、ウェディングドレスを製作する。デザインから完成まで、計画性をもって各自の作業を進められるか。製作の方法を理解し、自主的に取り組んでいるか。
・文化祭の「ファッションショー」での発表に向けて、全員で協力してショーを運営できるか。

令和3年度 年間授業計画

東京都立瑞穂農芸高等学校

教科	科目	講座名	単位数	対象学年	履修形態
家庭	子ども文化	子ども文化(保育福祉類型)	3	3年	必修選択

使用教科書 および 使用教材

教科書	教材
子ども文化(教育図書)	プリント バイエル 施設実習の手引きの冊子 児童文化財全般(絵本・紙芝居・お話・歌)

年間計画表

学期	月	指導内容	予定時数	具体的な指導目標
一学期	4	「子ども文化」子どもが主体となって創作する遊びや歌、言葉などを総合した子ども文化の重要性について。また、子どものための文化活動、児童文化財、児童文化財施設などの意義について。 「創作絵本製作と季節や行事ごとの壁面装飾製作」 「歌とピアノ(バイエル30番～)」	9	子ども文化について、実習を中心に講義を交えながら幅広く理解させる。保育技術検定では、3級の4種目に全員が合格できるよう、個別指導も含めて丁寧に指導し、力の定着を図り、合格を目指す。
	5	「造形表現活動」子どもの造形・描画表現の発達について。子どもとともに作る手作り遊具の大切さについて。 「言語表現活動」想像力と思考力を育て、人間関係を深めるお話の効用について。絵本の読み聞かせについて。 「創作絵本製作と季節や行事ごとの壁面装飾製作」 「歌とピアノ」	12	施設実習を行いながら、現場での学びを取り入れる。様々な保育系の施設の種類やその根拠となる法律について理解させる。
	6	「保育園実習1」「保育園実習2」 「創作絵本製作と季節や行事ごとの壁面装飾製作」の仕上げ 「歌とピアノ(バイエル30番～)」 「保育検定3級」受験に向けて	15	地域に学びの場を広く持つことにより、あいさつする姿勢や感謝の心を育てる。
	7	期末考査 「保育検定3級受験」 「人形劇鑑賞と人形劇創作」	3	
二学期	9	「夏休みの施設実習の活動報告会」 「創作絵本発表会」 「人形劇の創作・製作」 「歌とピアノ(バイエル40番～)」	15	子ども文化について、実習を中心に講義を交えながら幅広く理解させる。保育技術検定では、3級の4種目に全員が合格できるよう、個別指導も含めて丁寧に指導し、力の定着を図り、合格を目指す。意欲の高いものは2級を受験させる。
	10	人形劇などの創作や製作を行い、地域の児童福祉施設、児童文化施設などと連携を図り、上演を通じ地域の子どもの交流を体験させる。 「歌とピアノ(バイエル40番～)」	15	施設実習を行いながら、現場での学びを取り入れる。様々な保育系の施設の種類やその根拠となる法律について理解させる。
	11	人形劇などの創作や製作を行い、地域の児童福祉施設、児童文化施設などと連携を図り、上演を通じ地域の子どもの交流を体験させる。 「歌とピアノ(バイエル40番～)」	15	地域に学びの場を広く持つことにより、あいさつする姿勢や感謝の心を育てる。
	12	期末考査 「遊びと発達」遊びを通して運動、認知、情緒、言語などの諸機能を発達させ、対人関係を深め、社会性を獲得していくことについて。 「遊びと遊具」遊びと遊具とのかかわりについて。 「歌とピアノ(バイエル40番～)」	6	
三学期	1	「児童文化施設」児童館、児童図書館、児童公園など地域にある施設と子育て支援の考え方について。 「歌とピアノ(バイエル30番～)」	9	多様な子育て支援の施設や方法について学び、自らが親になったときや職業として支援する側になったとき、また社会の一員として、子育て支援の重要性について理解させる。
	2	卒業考査 年間のまとめ	6	保育や子ども文化についての学びを通じて、自らの生活や今後の人生、進路について深く考えさせる。
	3			

評価の観点・方法

105

日々の授業や実習への取り組み、定期考査などを総合し評価する。

①定期考査や保育検定で学習の定着、習熟度を図る(技能、知識・理解)

②ノートやレポートの提出、実習への参加の姿勢により取り組む姿勢を見る(関心・意欲・態度)

③施設実習の内容を発表させたり、質問の回答から思考力・論理力を観察する(見方・考え方、技能、知識・理解)

令和3年度 年間授業計画

東京都立瑞穂農芸高等学校

教科	科目	講座名	単位数	対象学年	履修形態
家庭	手話(学校設定科目)	手話(保育福祉類型)	2	3年	必修選択

使用教科書 および 使用教材

教科書	教材
家庭基礎 自立・共生・創造(東京書籍)	DVDで学ぶ手話の本 5級 (社会福祉法人全国手話研修センター)

年間計画表

学期	月	指導内容	予定時数	具体的な指導目標
一学期	4	手話表現 手話によるコミュニケーションの基礎 手話のなりたち、手話であいさつ、指文字練習	6	手話の学習を通して聴覚障がいなどについて理解させる。 手話の基本的な動作や決まりを習得させる。 初めて手話を学ぶ生徒も多くいることから、楽しくわかりやすく学ぶため丁寧に指導し、定着を図る。授業の中でペアワークを行ったり発表の機会を持たせ、実技を習得し使える手話を目指す。
	5	手話表現 手話単語の習得 家族や住所など自己紹介に必要な単語の習得	8	手話検定(5級・4級)合格を目指して、手話による自己紹介の練習と手話単語の語彙を増やす。過去問題集より、模擬テストを行い筆記テストへ慣れ実力を発揮できるよう指導する。
	6	手話表現 自己紹介の練習と手話単語の語彙を増やす。	10	
	7	手話表現 5級レベルの1分間スピーチと質疑応答の練習。 5級単語を覚える。	2	
二学期	9	手話表現 簡単な会話と手話単語、都道府県の表現の語彙を増やす。	10	手話の学習を通して聴覚障がいなどについて理解させる。 授業の中でペアワークを行ったり発表の機会を持たせ、実技を習得し使える手話を目指す。
	10	手話表現 簡単な会話と4級手話単語の語彙を増やす。 現在・過去・未来について表現する。 4級レベルの1分間スピーチと質疑応答の練習。	10	手話検定(5級・4級)合格を目指して、手話による自己紹介の練習と手話単語の語彙を増やす。過去問題集より、模擬テストを行い筆記テストへ慣れ実力を発揮できるよう指導する。実技テストの想定問答の練習を行う。
	11	手話表現 障がい者とのコミュニケーション手段を増やす。 行事について話す。 手話ソングを練習	8	聴覚障がい者の施設を訪問し、交流を行い、実際に手話でコミュニケーションをとることで学習を深化させる。
	12	手話表現 障がい者とのコミュニケーション手段を増やす。 聴覚障がい者の施設訪問と交流 手話ソングを練習し、地域の場で発表	4	手話ソングを習得させ、発表することにより、コミュニケーションの機会を増やす。
三学期	1	手話表現 手話ソングを練習し、地域の場で発表しコミュニケーションの機会を増やす。聴覚障害を理解するための講演会(聴覚障害者を招いて)を通して、学習の成果を自身で確認する。	9	聴覚障がいについて学び、ノーマライゼーションの重要性と多様なコミュニケーションの仕方について学習させる。
	2	考查、補習	3	聴覚障がい者の生活について、様々な角度から知り法律や社会の在り方について考えさせる。 年間の学習を通して、自らの生活や今後の人生、進路について深く考えさせる。
	3			

評価の観点・方法

70

日々の授業への取り組み、定期考査などを総合し評価する。

- ①定期考査で筆記テストと実技テストを行い学習の定着、習熟度を図る(技能、知識・理解)
- ②授業で学んだことを毎回ノートにまとめさせ提出、実習への参加の姿勢により取り組む姿勢を見る(関心・意欲・態度)
- ③施設実習の内容を発表させ、思考力・論理力を観察する(見方・考え方、技能、知識・理解)